

令和3年6月25日

保護者様

三木市立吉川小学校
校長 長谷川 珠里

吉川小学校開校を迎えて（II）

初夏の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力を頂き深く感謝いたします。

さて、本校が開校して2カ月余りが過ぎましたが、保護者や地域の皆様のおかげで、落ち着いた学校生活を過ごす事ができています。

開校後の様子やご協力いただきたい事などを、前回まで（4/16付から6/17付まで計10回）に引き続き、これからも少しずつお伝えしていきますので、ご確認をお願いします。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じて、ご確認ください。

I 新型コロナウイルス感染症対策と学びの継続

（1）6月21日（月）の校外学習について

新型コロナウイルス感染症対策のための緊急事態宣言中は、校外学習を控えていましたが昨日をもって解除されましたので、予定通り校外学習を行いました。

町内にある吉川総合公園に通学バスを利用して移動し、たて割り班でのウォークラリーを行いました。吉川小学校が開校してからも感染症対策のため、全校揃っての活動がほとんど行えませんでしたので、楽しみにしている児童が多くいました。



たて割り班を2つに分けて、班ごとにポイントを巡っていきました。ポイントごとに、遊具で遊んだり、お題の早口言葉に取り組んだりしました。とても暑い日でしたので、熱中症対策のため、水分をこまめにとったり、日陰で休憩をしたりしながら活動を行いました。



活動の最後は次のような6年生のこぼれ話で締めくくりました。「小学校は統合し、6年生にとっては小学校生活最後の1年になります。今日のように楽しい思い出を一つでも多く作っていきたいです。」

(2) 緊急事態措置の解除後の教育活動について

国の緊急事態宣言、新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針に基づく緊急事態措置の解除、並びに兵庫県教育委員会の方針を受け、今後の教育活動に当たって、学校において留意すべき事項のうち、保護者にもお伝えすべき内容を下記のとおりまとめましたので、ご確認ください。

① 感染防止対策

ア 健康観察の徹底

児童生徒も教職員も、毎日の登校、出勤前の検温等の健康観察を徹底する。発熱等の風邪症状がある場合は登校しない。

- ・ **児童の感染**が判明した場合または**感染者の濃厚接触者**に特定された場合は出席停止とします。
- ・ 児童の**同居家族が感染者**として特定された場合は、必要な期間出席停止とします。
- ・ 児童の同居家族が感染者の濃厚接触者（接触者を含む）として特定された場合は、「三木市〈新型コロナウイルス感染症〉感染者発生時の対処方針」の感染レベルに基づき対応しますので、学校にご相談ください。
- ・ 児童に**発熱等の風邪症状**が見られる場合は出席停止とします。

イ 登校後においても児童生徒等の体調の観察に努め、体調の不調に教職員が気付いた場合には、早退等、迅速な対応をしますのでお迎え等をお願いします。

ウ 教室内をはじめ、職員室、教科準備室、更衣室等において、適切な温度管理等に十分留意しながら換気を行います。エアコン使用時においても換気を行います。

エ 清掃・消毒

学校生活の中で清掃活動の中にポイントを絞って消毒の効果を取り入れるとともに、清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童生徒の免疫力を高め、手洗いを徹底します。

オ 給食の際、飛沫を飛ばさないような席の配置（全員前を向いています）をし、マスクを外していますので黙食を継続します。なお、会話の際にはマスクを着けるなどの対応ができるように指導します。黙食を徹底していますが、楽しめるお昼の放送を放送委員会中心に行っています。



低学年の昇降口に燕の巣が出来ています。

② 熱中症対策

適切な水分補給や休憩などの基本的な熱中症対策は行います。特に、気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、換気や児童生徒等間に十分な距離を保つなどを配慮し、マスクを外すよう指導します。

- 熱中症も命にかかわる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させます。
- 屋内においては、空調設備による教室等の温度管理、空調設備のない場所では風通しを良くするとともに、激しい運動を避けるなど活動内容に配慮します。
- 児童本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように発達段階に応じて指導します。
- 体育の授業においてマスクの着用はしません。
- 登下校時を含め、マスクを外しての会話を行わないことを徹底します。

1人1鉢育てています。

③ 感染リスクの高いとされていた教育活動について

十分な感染防止対策を講じた上で、行って行きます。

- 理科における「児童同士が近距離で活動する実験や観察」
- 音楽における「室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- 図画工作における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- 家庭における「児童同士が近距離で活動する調理実習」
- 体育における「児童が密集する運動」や「近距離で組み合ったり、接触したりする運動」

※例を挙げる活動以外であっても、児童同士が近距離で大きな発声を伴う活動や身体的接触、マスクを外して行う運動など、感染リスクの高い活動については、今後の感



染状況等に応じて適宜見直すこととします。

④ 校外からの来校者を伴う学校行事

参加者には、マスクの着用等、基本的な感染対策を徹底するとともに、検温など、体調確認を行った上で、実施します。

⑤ 校外活動

活動場所の感染状況や感染防止対策を十分確認した上で実施します。

市外での活動については、感染対策について保護者に十分な説明を行い、参加同意書により市外での校外活動への参加について同意を得ます。

⑥ 県外での活動

緊急事態宣言が発令されている都道府県やまん延防止重点措置の対象地域での活動は見合わせるとともに、都道府県の発表する感染状況など客観的な感染状況を踏まえ、活動地域については慎重に選定します。（例：修学旅行等）

⑦ 講師等（地域の方々を含む。）の招聘

必要に応じて学習活動に講師等を招聘します。なお、マスク着用等の基本的な感染対策や事前の健康確認、学校の感染防止対策について事前に説明し、協力を依頼します。

※ 感染症や熱中症対策をしながら、学びを充実させていきたいと思いますが、新型コロナウイルスの感染状況の予測は難しい状況です。その時々状況に応じて、適切に対応していきたいと思いますが、今後の感染状況により必要に応じて変更することがありますが引き続き、ご理解・ご協力をお願いします。

3 | 学期末の個人懇談について

ご案内のとおり1学期末に個人懇談を予定しており、保護者の希望と学校の希望を合わせて調整しています。

楽しい学校生活を送りながら、学びを深めてほしいと願っていますが、時には思いが相手の伝わらずに、嫌な気持ちを抱えたまま帰宅する児童もいるかと思っています。ご自宅では児童の思いに寄り添っていただきながら、慰め、励ましていただきたいと思っています。

加えて、小学生はまだ自分の言動を客観的に把握できない事があり、自分がされた事のみを覚えていたり、何をして何をされたか思い出せない事もあります。

学校での様子や指導した事を保護者にお伝えするとともに、これから共に児童を育ていく関係を築いていきたいと思っています。限られた時間ですが、来校いただきお話をする機会を設けていきたいと思っています。ご理解・ご協力をお願いします。